

# みんなの議会

# おおさと

定例会



令和7年2月1日

No.217



(令和7年成人式)

- 02 特集 新成人との座談会
- 04 小学6年生 議会を見学
- 010 9名が町政を質問 (一般質問)
- 022 追跡レポート

# 大郷町をこんな町に



▲20歳の誓い (令和7年成人式)

令和6年12月11日、\*成人式運営委員の方々と「大郷町に思うこと」や「将来の夢」について座談会を行いました。

\*民法上では2022年4月1日時点で18歳、19歳の方が成人となりましたが、大郷町では20歳で成人式を行っています。



大学では国際教養学部<sup>3</sup>に在籍している。留学経験者から刺激を受けた。卒業後は1年間留学する予定。将来はパイオニアとして前に立てるようになりたい。

交通の便が悪いと感じている。住民バスは土日の運行や、時間の制約について融通が利けば教育の幅が広がると思う。

仙台の会社で経理の仕事をしている。学生のとときにボランティアの経験がある。平和に暮らしていきたい。

温泉(夢実の国)があつてほしかった。幅広い年齢層が利用すると思う。サウナも必要。紅葉を見れるスペースを希望する。タクシーを利用しやすくしてほしい。

大学の法律学部<sup>4</sup>に所属している。自分の居場所を見つけたい。地元である大郷の活性化に尽力できればと思う。

大郷は自然が売りなので、自然を生かしたアトラクション施設があればよいと思う。空き家バンクの現状や町と企業との提携はどうなっているのか知りたい。

医療事務の専門学校に通っている。マイナ保険証の導入には地域格差を感じている。病院関係の職種である診療情報管理士を目指したい。

住民バスの本数が少ない。1日あたりの本数を増やしてほしい。親に道の駅まで迎えに来てもらうことがあつたのでバス停の検討も。

大学の生活デザイン学科に通学している。卒論のテーマは「大郷」にしたい。将来は地域の活性化や課題の解決に取り組めればと思う。

フリーマーケットは古着が安く買えたりと、若者ウケする内容だと思う。大郷に魅力はあるが、広告・PRに工夫がほしいと感じる。

看護系の大学で災害看護について学んでいる。地域の医療格差をどうにかしたい。フライトナースを志望したときもあつたが、今は模索中。

モロヘイヤソフトが大好き。美味しいので、もっと広めてほしい。SNSで情報発信できれば、道の駅の利用者が増えると思う。

大学で経営学を専攻している。学外ではボランティアサークルで街頭募金などに取り組んだ。起業して経営の現場に立ちたい。

道の駅の利用者は多く、フリーマーケットには町外からの来客があり、大郷はいい所が増えている。キャンプ場があれば町の活性化につながるのでは。



高橋 愛理彩さん(学生)



村山 莉子さん(社会人)



鈴木 優斗さん(学生)



佐藤 優衣さん(学生)



石川 優真さん(学生)



齋藤 晏央依さん(学生)



熊谷 颯斗さん(学生)

# 大郷小 6年生

# 定例会を傍聴

令和6年12月3日、大郷小学校の6年生66人が、  
一般質問の様子を見学しました。



えんどう みそら  
遠藤 美空さん  
(6年1組)



## たくさんの学び

私は、議会を見ることはなかったのですが、この議会見学を楽しみにしていました。

実際にモニターや生で見ると、町のことや小中学校、小学生のタブレット教育について話していました。小学生のタブレット教育に先生たちは、ついていけているかという話し合いが一番聞きとれました。私は、その話し合いの時に先生たちは、タブレット教育についていけるのになと思いました。

議会に参加している人たちは、すごく座っている時の姿勢が良かったです。私も見習いたいと思います。そして、議員さんの方には、名前の書いてある名札が机に置いてありました。私が一番驚いたことは、小学生の私たちが学校でしている話し合いとは、雰囲気は違っていました。

議会見学は、たくさん学べることがありました。議会見学をまたしたいなと思いました。

あさの ゆうだい  
浅野 裕大さん  
(6年1組)



## 話し合いを参考に

ぼくは、テレビでは見たことがあるけど、見に行くのは初めてだったのでワクワクしました。

テレビで見たように激しく言い争っているのではなく、しっかり話し合いになっていました。その話し合いでは、小学校、中学校のタブレットは、先生たちは使いこなせているのかということ話し合っていました。ぼくたちも、使っているタブレットのことなので、話が大体分かりました。議会の休憩時間には、いすに座らせてもらいました。議長さんの席にも座らせてもらいました。普通のいすとは違って、ふかふかしていて、肘掛けも付いていました。

議会の人たちは、どのように話し合っているのかを知ることができて良かったです。これを参考にぼくたちも話し合っていきたいです。

やまくち しょうこ  
山口 翔子さん  
(6年2組)



## 真剣な話し合い

私が、議会見学に行ってきたことは、大郷町のまちづくりの様子についてです。

町長さんや議員さんが、大郷町のまちづくりについて、真剣に話し合っていました。大郷町の施設のことなど、資料を見たりしながら話し合っていました。議場の様子も、実際に見て学んできました。議場はとても静かで、少ししゃべっただけでも聞こえるくらい静かでした。町長が議会見学が終わったときに、みんなが住みやすい大郷町にしたいと言っていました。私は、町長さんや議員さんが、大郷町について一生懸命考えているんだと思いました。

議会見学で学んだことをこれからの生活に活かしていこうと思います。

あべ たつる  
阿部 竜弦さん  
(6年2組)



## まちが豊かに

ぼくが、大郷町議会の見学に行ってきたことは、議員さんの気持ちです。

ぼくたちが見学に行った、一般質問では、各議員さんが、大郷町民のくらしが豊かになるように、考えてくださっていることがよく分かりました。

議員さんの質問の中で、「大郷には温泉がないので、道の駅などに温泉をつくれれば、車で遠くまで移動することが大変な人も、温泉に入ることができる」ということを聞いて、町民の大人から子どもまで、みんなが、温泉があったらいいと思っているのではないかと思います。

議会見学に行き、まちが豊かになるよう、考えていることが分かりました。

# 住民アンケート予算を削除する修正案を可決

一般会計補正予算（第8号）は7913万7千円で計上されましたが、おおさとスマートスポーツパーク（SSP）構想の賛否を問う住民アンケートの費用132万5千円を削除し、7781万2千円を追加、歳入歳出それぞれ64億2823万2千円になりました。

## 修正動議

令和6年度一般会計予算（第8号）の審議において住民アンケートの費用を削除する修正案の動議が提出され賛成多数により可決しました。

## 提案理由

予算も計上せず、強引にアンケートを実施した。予算をしっかりと確保し、実施するという基本的なことも守れないのに、SSP構想は本当に大丈夫なのかと不安要素がまた増えた。このような事例を一度でも容認してしまうと、何でもありの予算付けになるものと懸念する。

発議者

鈴木 利博議員  
石垣 正博議員

## 討論

## 修正案賛成

鎌田 暁史 議員

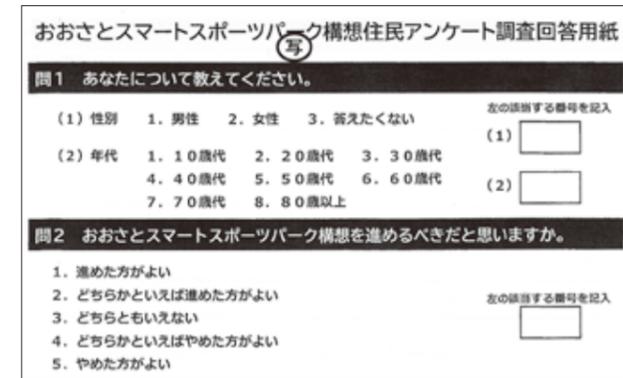
住民アンケートの費用を現行予算から支出すると町が決めたことにより、予算審議を行う機会が失われたことが問題である。住民アンケートの内容を否定しているのではない。

先にアンケートをして予算が足りなくなったから補正予算を出すというのは、ありえない話ではないか。順番を間違っていないか。

答 予算については今ある総務管理費の中で利用し、不足した際は補正予算で対応と決定した。今後、もし同様の案件が出てくるかもしれないが、それについては、しっかりと報告したなかで、対応できればと思う。

問 補正予算が否決となったらどうするのか。

答 できるだけ経費をかけない方法を考えるが、どうしても足りなくなったら場合は、3月補正予算に再度計上するか予備費での対応を考える。



▲住民アンケート調査回答用紙（資料）

## その他の質疑

### 時間外手当

問 6月、9月にも計上されている。なぜ今回も計上したのか。

答 6月、9月に計上していない課もあつた。また、合併70周年の記念事業準備などで今回計上した。

### 母子福祉会

問 解散となった理由は。

答 会員の高齢化と会員数の減によるものとなっている。

### 敬老会

問 欠席者への記念品が、タオル1本だった。

答 約1500人に配布しており、配布時の負担を考えた。

### 就学前教育・保育施設整備事業補助金

問 屋根・外壁の修繕事業が国に事業採択されず減額となっている。こども園の運営に影響は出ているか。

答 修繕を緊急に行うものではなく、影響はない。

### 町道補修工事

問 修繕が必要となるのは木ノ崎線のみか。

答 緊急性があると把握している場所、木ノ崎線が最優先と考えている。

### 高額介護合算療養費

問 過年度分について一部未支給が発生した原因は。

答 還付の手続きにおいて事務的な漏れが一部にあつた。被保険者に申請を促す対応が漏れており、対象の方々には訪問して説明を行った。

### 介護保険料

問 保険料が高いと思っている人が多い。町単独で県の平均に近づいた金額で対応できないか。

答 保険料を100円下げるのに約1000万円の基金の投入が必要。県の平均値とするためには、基金の残高が足りない。

### 東成田浄水場修繕

問 内容は。

答 昭和51年頃に取得した鉄筋コンクリート造りの建物に対して、屋根のふき替え、外壁の改修、ひび割れの修繕を行う。付属屋的な木造の建物は腐食が進行しており、解体して新設する。

## 42万円 小学校 消耗品費



問 内訳は。  
答 融雪剤、消防用のホース12本の購入である。

## 209万円 緑の郷 管理費



問 何カ月分の予算か。  
答 4カ月分の予算である。燃料費、光熱水費の他に、浄化槽維持管理業務、警備保障業務などの委託費。

## 1297万円 農業振興費 多面的機能活動組織給付金

8行政区の8組織に対する農業施設等の長寿命化を図るための事業補助金

## 1782万円 農地費 農村地域防災減災事業

志田谷地排水機場および行井堂堰の施設整備に係る負担金

## 1590万円 児童措置費 児童手当

制度改正に伴う対象児童数および第3子支給額増等によるもの

## 1318万円 障害者福祉費 自立支援給付費

障がいのある方々の短期入所やグループホーム利用の増、報酬単価の増によるもの

# 防災コミュニティセンターの備品購入

## 議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	赤間繁幸	鎌田暁史	鈴木利博	赤間則幸	佐々木和夫	鈴木恵子	金須新一	田中三恵子	熱海文義	石垣正博	高橋重信	石川良彦		
第4回定例会	報告 報告第12号	専決処分の報告	報告のみ													
	議案 議案第56号	工事請負変更契約の締結について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	修正案 議案第57号	補 一般会計(第8号) 64億2823万円(7781万円↑)	可	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
			可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	修正議決した部分を除く原案	正 特別会計	議案第58号	国民健康保険(第2号) 9億3397万円(1025万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
			議案第59号	介護保険(第2号) 11億5688万円(20万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案	算	議案第60号	水道事業会計(第2号) ①収益的支出:2億4282万円(450万円↑) ②資本的支出:1億163万円(300万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
			議案第61号	下水道事業会計(第2号) 収益的支出:3億7376万円(40万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第62号			財産の取得について	可	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	-	
第6回臨時議会	議案第63号	大郷町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第64号	特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第65号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案	補	議案第66号	一般会計(第9号) 64億6043万円(3219万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
			議案第67号	介護保険特別会計(第3号) 11億5707万円(19万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	議案	算	議案第68号	水道事業会計(第3号) 収益的支出:2億4321万円(39万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第69号			下水道事業会計(第3号) 収益的支出:3億7483万円(107万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第1回臨時議会	議案 議案第1号	一般会計補正予算(第10号) 65億2022万円(5979万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-		

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席  
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

## 議会運営委員会 視察研修

12月12日 福島県 三春町

ペーパーレス議会の取り組み効果について。  
議会広報モニター制度の効果について等。



12月13日 福島県 桑折町

住民との議会報告・意見交換会について。  
自由討議実施要項、町民会議実施要項等。



▲開通が待たれる成田橋

**【議案第56号】**  
**工事請負変更契約の締結**  
1309万8千円を増額し、工事請負契約金額1億8579万8千円とする。  
**提案理由**  
成田橋橋梁修繕工事につき、床版撤去後の詳細調査の結果、橋台側面コンクリートの剥離や橋台・橋脚のひび割れが確認され増額となったもの。  
**問** コンクリートの空洞の部分をハンマーでたたいて点検。その部分を撤去・補修して強度が保てるのか。  
**答** 規定のマニユアルにのっとり実施している。

○入札結果 (税抜き) 単位:円

順位	応札者	1回目	2回目
1	(株)太陽事務機 仙北営業所	10,250,000	9,950,000
	A社	10,570,000	辞退
	B社	11,600,000	辞退
	C社	事前辞退	
	D社	事前辞退	
	E社	失格	

予定価格 10,209,570円(税抜き)

**【議案第62号】**  
**財産の取得**  
防災コミュニティセンターの備品一式(会議室・事務室・ホール等の机・椅子など)を、1094万5千円で購入。  
**問** 防災コミュニティセンターは町のシンボリックな建物である。他家電メーカーへの変更は考えられないか。  
**答** 機械に問題ない限りはこのまま進める。  
**問** 1回目は不調。2回目が1社のみのはずである。今後慎重にされたい。  
**答** さらに慎重に物事を進めていきたい。



▲完成間近の防災コミュニティセンター

**【報告第12号】**  
**専決処分の報告**  
一般会計補正予算(第7号)  
衆議院議員選挙による諸費用1042万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ63億5042万円となった。

## 次回定例会

予定 3月4日(火)午前10時から  
3月19日(水)まで

ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube(ユーチューブ)」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。





# ICT活用での校務改革は

## 教職員の負担軽減など有効活用(教育長)

いしがき まさひろ  
石垣 正博 議員

**問** 社会の変化に合わせて、ICT教育環境を整え、ICTを活用していけることが、GIGAスクール構想の目的。  
すでに、構想が始まって3年以上になる。先生方の授業のやり方、校務の改革に十分役立っているのか伺う。

**答** 教育長 校務の軽減策として、タブレットによる児童生徒の出欠確認およびパソコンによる成績処理や成績表への記載軽減をしたり、児童生徒の健康状態を複数の教職員で確認をすることで負担軽減が図られている。  
また、会議資料のペーパーレス化やウェブ会議への参加など有効活用が図られている。今後も教職員の研修を積極的に実施。効果的

**問** 全国の小中学校において、外国籍の子どもたちが増加。  
本町でも今後増加するものと考え。宗教・給食・文化など違った様々な国から来ることから課題も多く、学校側も対応が難しくなる。  
日本語を理解できない子どもも多くいると思う。本町はどのような支援を行っているのか。

**答** 教育長 教員補助者を小中学校に配置し、外国籍の児童生徒に授業の補助。県費負担の日本語指導講師を小中学校に配置。外国籍の児童生徒に個別指導を行っている。  
今後、外国籍の児童生徒が安心して学ぶことができるよう努めていく。

### 外国籍の子どもの支援は

な活用に努め負担軽減を図る。  
(脚注)  
※ICTとは、情報や通信に関する技術  
※GIGAスクール構想とは、ICT環境整備により創造性を育てる教育の実現を目指す。

### 欠席中の学習を成績に反映

**問** 不登校の児童生徒が欠席中に行った学習の成果を、成績に反映できるか。

**答** 教育長 評価・評定は、学習や授業への取り組み、作品や提出物、定期考査や単元テスト、実技などの結果を総合的に評価している。ケアハウスも自宅でテス

トを受けた成績や、行事などへの参加など、学習の参考となるものも評価し、通知表の担任所見欄に取り組みや頑張りを反映している。不登校状態であっても、社会的自立に向けた支援を、学校各機関が連携し、適切に実施することが一層大切になってくる。



▲ICT活用での成果

次ページから一般質問

# 9名が町政を質す!



質問議員	質問件名	掲載ページ
いしがき まさひろ 石垣 正博 議員	1. 情報化社会に合わせた学習環境の整備を 2. 外国籍の受入れについての学校の対応は 3. 欠席中(不登校)の学習を成績に反映	P.11
きす しんいち 金須 新一 議員	1. 危険ブロック塀の早期解消を 2. 昭和時代に建設された公共施設の今後は	P.12
あかま のりゆき 赤間 則幸 議員	1. 道の駅の集客向上について 2. 地域公共交通の更なる充実を	P.13
すずき けいこ 鈴木 恵子 議員	1. 町道の維持・管理について 2. 健康づくりについて 3. 受診率向上について	P.14
かまだ あきふみ 鎌田 暁史 議員	1. スマートスポーツパーク構想について 2. 町有財産の利活用について 3. P F A Sによる環境汚染問題について	P.15
すずき としひろ 鈴木 利博 議員	1. 小学校 通学時のヘルメット着用 2. 「おおさと地域振興公社」の独立を 3. 「パストラル縁の郷」の売却を	P.16
ささき かずお 佐々木和夫 議員	1. 畜産経営に関わる飼料高騰及び販売価格低迷について 2. スマートスポーツパーク構想の進捗状況について	P.17
あかま しげゆき 赤間 繁幸 議員	1. パストラル縁の郷について 2. 公共交通について	P.18
たなか みえこ 田中三恵子 議員	1. 带状疱疹予防について 2. 肺炎予防について	P.19



あかまのりゆき 赤間 則幸 議員

# 公共交通機関のさらなる充実を

## 具体的な運行形態を見直していく(町長)

**問** 高齢化社会が進む中、無理な運転をしようとする方が増えて大きな惨事を招いてしまうかもしれない。そのようなことが起こる前に公共交通機関のさらなる充実のためアンケート調査を行い、対策を講じていかねければ、何も変わらないのではないかと。さらなる利便性向上のため、路線の見直し、新たな経路を、考えてみてはどうか。

**答** 町長 利便性向上を図るためには、公共交通機関の運行形態の見直しが必要と考えている。協議会を組織し、利用実態の調査やアンケート調査を実施しながら具体的な運行形態を見直していく。

**問** 町民が求める交通機関としての役割を果たしているのか。

**答** 町長 皆さまの要望に対して、できる限りお応えし、利便性を高められるように努めていく。

**問** 物産館駐車場は使い勝手が悪い。せつかく買い物に来るお客様が素通りしていきようにも見受けられる。現在の駐車場配置を変えて消防署方面裏手より道をつなぎ、入り口を変えてはどうか。

**答** 町長 議員の提案のとおり、現在の道の駅進入口を西側に移動し、西側駐車場の外側を通りながら消防署裏まで結ぶ環状道路を整備し、駐車場スペースの全体の整備計画を見直すことで、利用者の利便性、安全性の向上、さらには、渋滞緩和の可能性が確かか



▲新しい住民バス

**問** 既存の建物を生かして、入浴施設を造ってはどうか。

**答** 町長 道の駅に設置することで、今よりも集客が見込まれる可能性は高くなると思う。しかしながら、建設費や維持管理費などの

財政負担も大きいことから、補助事業の活用や民間事業者との連携も含め検討していきたいと考えている。

# 危険ブロック塀の早期解消を

## 引き続き撤去事業を進めていきたい(町長)



きすしんいち 金須 新一 議員

**問** 町内には、小学校を中心としたおおむね半径500mのスクールゾーンに、危険ブロック塀が254mにわたって存在する。この現状をどのように捉えているのか。

**答** 町長 令和6年11月末現在、延長は180mに減少している。改修が必要な危険度2の危険ブロック塀改修率100%に向け、引き続き撤去事業を進めていきたい。

**問** 今後該当エリア対象者にどのようにアプローチしていくのか。

**答** 町長 今後も県と連携して個別訪問を行うなど、早期撤去に向け取り組んでいく。

**問** 補助金の上限を期間限定で解除し、早期解消すべきと考えるが。

**答** 町長 複合化は、ランニングコスト削減などのメリットがある。一方で建設コスト増などのデメリットもあるため、町民の皆さま、

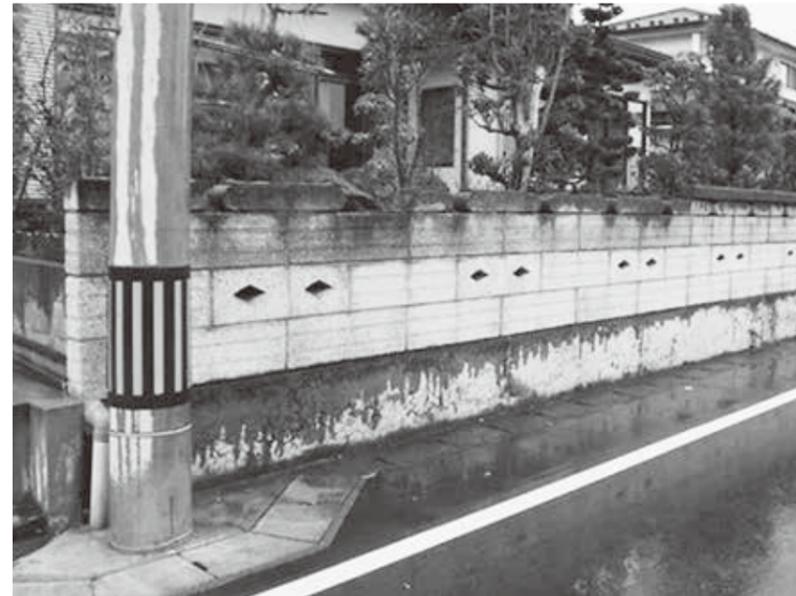
**問** 昭和時代に建設された公共施設の今後は

**答** 町長 危険ブロック塀撤去のさらなる加速化を図るため、ブロック塀所有者のご意見を踏まえ、補助金の上乗せを検討していきたい。

**問** 町民体育館、大松沢社会教育センター体育館、旧大松沢小学校、文化会館などはどのように更新していくのか。

**答** 教育長 本町が策定した「大郷町公共施設等総合管理計画」の理念に基づき、「大郷町公共施設等個別整備計画」に記載されている計画をベースにして、施設ごとに適正に対処したい。

**問** 役場庁舎を更新する際、同一敷地内に公共施設を複合化した施設(図書館・歴史民俗資料館・集客ホール等)を併設するべきと思うが。



▲安全な通学路の確保を(県の提供資料より)

議会のご意見などを伺いながら慎重に検討したい。

**問** 大松沢社会教育センター体育館が雨漏れしている状況にある。町の考えは。

**答** 教育長 個別計画に基づき、令和6年度に部分的に施工を行ったが、耐用年数を超過している建物である。防災上の拠点としての

役割も大きい施設であるので、慎重に方向性を定めていきたい。

一般質問

一般質問



あき ぶみ 議員  
かま だ 謙田 議員

# 「SSP構想」議決に向き合うべき

## 将来を考えたとき必要な事業(町長)

**問** 企業版ふるさと納税による寄付の見込みは。

**答** 町長 現時点で事業実施が確定していないため、積極的に募集できない状況。事業実施が確定したら様々な方法を活用して募集活動を開始する。

**問** スポーツX社の工費が増加する可能性がある。町の負担は増えない認識か。

**答** 町長 事業者の工費が増加した場合は、事業者が負担することとなる。

**問** 住民アンケートの費用総額と、総務管理費に不足が生じるかどうかの見込みは。

**答** 町長 住民アンケートの費用総額は132万4165円。予算不足が生じることから補正予算を提案する。

# 「きれいな町 大郷町」へ

## 道路管理に努めていく(町長)

**問** 高齢化が進む本町で町民の方々の負担軽減を考慮しつつ「きれいな町 大郷町」を目指していくべきでは、その中で縁石回りの草が多数見受けられる。手付かずにおいたならば、いずれ道路の修繕費がかさむのでは。

**答** 町長 雑草の成長により、舗装を破損させる可能性などが考えられる。特に、道路沿線に人家がない幹線道路の歩車道境界ブロック際の雑草は、除草作業が困難な場所が多く、繁茂するため、路面が損傷するまゝに除草作業を実施できるよう、道路管理に努めていく。

**問** 困難な場所を早急に解決していくべきでは。

**答** 町長 地域整備課長 行政区長からも、高齢化で人が集



すず き 恵子 議員

まらないと相談を受けている。公助・共助の分の取決めにつきましては、今後、この課題だけにかかわらず人口減少の中で、一定の線引きをしていく必要がある。

### 健康ONVOLUTION

**問** トレーニング機器3台が設置されているが、今後新しい機器の導入など検討しているのか。

**答** 教育長 新規導入の予定はないので、現在ある機器を有効活用していく。

**問** 長く健やかに生活していただくための、高齢者に適している健康づくりとは。

**答** 保健福祉課長 65歳以上が人口の約4割を占める状況で、そのなかで介護費用をかなり負担している状況。介護予防に力を入れた

**問** 今後、町として高齢者の活動をサポートする人材を育成すべきではないか。

**答** 保健福祉課長 社会福祉協議会の体制充実も考えていく。

### 一般質問

**問** 議会では関連予算を2回否決している。議決に向き合うべきでは。

**答** 町長 本町の将来を考えたとき、必要な事業である。議会では反対が多くて、町民には、やれという声がある。

**問** 議決については、金の返還については。

**答** 町長 関係機関にも相談したが、町が直接運営管理するのであれば直ちに補助金の返還を求めたものではないとの見解が示された。

**問** 今後の運営方針は。

**答** 町長 できるだけ早期に新たな指定管理者を選定し、議会に諮りたいと考えている。

**問** 保健センター前の太陽光発電施設で所有者が変更となった経緯は。

**答** 町長 当初運営してきた事業者から、それまで設備等管理の委託を受けていた事業者に事業譲渡した。

### 一般質問

**問** 町民の健康維持や、受診率向上のために、現在、健保組合別や年代別である検診料を、一律無料化する考えはないのか。

**答** 町長 町としては、できるだけ多くの方に受診い

### 受診率向上ONVOLUTION

ただけるよう受診方法や日程、会場などを調整しているところであるが、町の財政状況も考慮し、一定の自己負担にご理解いただきたく考えている。



▲安全できれいな町道へ



▲事業者の概算工費は妥当か(中粕川地区)

### PFASによる環境汚染問題

**問** 見解は。

**答** 町長 国や県の動向に沿って適切に対応していく必要があるものと考えている。

**問** 「水質検査」が義務付けられた場合の対応は。

**答** 町長 今後、水道法上の水質検査項目に見直しがあつた場合においても、安心・安全な水の提供が行われるよう、引き続き最優先に取り組んでいく。

**問** 河川、ため池などの水質検査項目にPFASの測定を追加すべきと考える。

**答** 町長 環境省や県の意見も参考にしながら、検査の必要があると判断した場合には、追加して実施していきたいと考えている。

※PFAS：人工的に作られた有機フッ素化合物の総称。さまざまな健康への影響が指摘されている。



さ さ き かず お  
佐々木 和夫 議員

## 畜産農家への支援対策は

### 生産者補助金・事業奨励金が交付(町長)

**問** 宮城県やJAなどと連携し予算措置と支援策を要望しているとの答弁であったが現在の進捗状況は。

**答** 町長 肉用子牛生産者補助金や、優良和牛生産推進支援事業の奨励金が交付されることとなっている。国の補正予算や県の支援策などを注視しており、地域生産額向上に向けた支援について検討している。

**問** 畜産農家の経営状況が厳しく事業継承が困難では。

**答** 町長 市場価値・販売価格が向上すれば利益が生まれ持続可能になる。経営状況を改善することが必要である。

**問** 大郷産牛の消費拡大戦略は。

**答** 町長 道の駅で常設販売の検討や催事での試食販売

**問** 測量設計業務費がそれぞれ可決されているが、予算の執行状況および事業の進捗状況は。

**答** 町長 測量設計費は5月30日に契約締結、地形測量は終了し用地測量は11月より進めており、11月末時点進捗率約50%である。測量設計業務費は10月24日に

一般質問



すず き とし ひろ  
鈴木 利博 議員

## 通学時(小学校)のヘルメット着用を

### 必要性について検討する(教育長)

**問** 自転車以外で通学する児童は、ヘルメット着用をしていない。当たり前前の光景に見えるものの、児童のヘルメット着用には交通事故や事故死を減らす効果がある。所見を伺う。

**答** 教育長 児童の生命を守る観点から、通学時にヘルメット着用することは有効な手段だと思うが、徒歩通学時児童などのヘルメット着用についてはメリット・デメリットがあり、必要性について、保護者や教職員の意見を伺いながら検討していく。

**問** ヘルメットを着用する習慣は、例えば地震があった際に頭を守るのに必要なアイテムでは。

**答** 教育長 よき習慣というのは非常に大事。いろいろな意見を聞きながら検討

**「地域振興公社」の独立を**

**問** 昨今の物価高の影響により、町民の可処分所得が減り、日常生活に影響を受ける人が増加しそうな背景のもと「振興公社」のあり方について町民の税金を「振興公社」の赤字埋め合わせに使うのは町民に理解できないものと考えます。

**答** 町長 町からの貸付金を返済中であり、観光客入込客は増加しており令和6年度は前年度より売り上げも伸びている。町からの振興公社への財政的な支援は考えてない。経営健全化に向けてより一層の企業努力を期待している。

一般質問

**SSP構想の進捗状況**

**問** 執行部提案の議案が2度否決されている現状や住民アンケート調査結果を踏まえて、計画を遂行するのか、計画を中止するのか、今後、事業の推進は。

**答** 町長 町民の約半数から意思表示をいただいたので、その結果を尊重し事業を推進していく。反対意向の意見にも真摯に受け止めていく。

**「縁の郷」の売却を**

**問** そもそも事業スキームにおいて、赤字になるのを承知の上、これまで町で維持してきたものの、今後の修繕費や利用状況を鑑みると、そろそろ売却した方が

売などで、販路および消費拡大を実施している。民間企業と共同で大郷産仙台牛を使用したメニュー開発を行い、仙台・東京・大阪の店舗で提供されている。



▲消費拡大を期待するブランド 仙台牛



▲子どもの命を守る ヘルメット

**いいのでは。**

**答** 町長 本町唯一の宿泊施設であり、観光コンテンツの中核を担っている。経済性だけで判断するものではなく、本町にとっても必要な施設であり、継続的に事業を展開し運営していく必要があると考えている。また、テレワーク施設も併

せて有効に活用していきたいと考えている。

契約締結、工程・基礎資料の作成を進めており12月中旬にボーリング調査を予定。

**問** スポーツX社の財政状況は大丈夫か。問題点、疑問点を払拭できるのか。

**答** 町長 途中で計画が縮小されようが、どうされよ

うが、用地買収と盛土工事を引き渡すことで、町の責任を果たす。その後の将来については町の資産としてどう運用していくのかは、次のものが考えるべき。



たなか みえこ 田中 三恵子 議員

# 带状疱疹予防接種 助成の維持を

## 対象年齢や個人負担額も含め協議(町長)

**問** 带状疱疹ワクチンは国において来年度定期接種化が了承され、接種年齢は65歳と報道されている。50歳以上を助成対象とする本町の現行制度を維持すべきと考えるが所見を伺う。

**答** また、現在、接種費用のおおむね5割(1万円×2回)を公費で助成している。定期接種後は国の公費負担が3割と予想される。住民の自己負担額が変わらないよう、町としてあと2割の助成を行う考えはあるか。

**答** 町長 带状疱疹予防接種を希望する方が増えている中、任意接種であるため費用が高額となることから経済的負担軽減と健康の保持増進のため、今年度から黒川地区4市町村で協議して始めた事業である。定期

# どうする縁の郷

## 新たな指定管理者を選定する(町長)

**問** 10月から休業している「縁の郷」について、町の考えを伺う。

**答** 町長 指定管理者が撤退したこと、現在はプレオープンという形で町の直営管理となっている。現状では、直ちに補助金の返還を求められるものではない。しかし、「縁の郷」を有効に活用していくため、早期に新たな指定管理者を選定していく。

**問** 町外だけでなく町内の人に満足してもらえるサービスを提供しては。

**答** 町長 町内の方にもしつかり活用していただける施設にしていきたい。この施設の価値を高めると考えるので、そのあたりを検討していく。



あか ましげ ゆき 赤間 繁幸 議員

# 公共交通について

**問** 「住民バス・スクールバス・通園バス・ふれあい号」などで交通の利便性を高めているが、それぞれの課題や改善案を伺う。

**答** 町長 「住民バス」については定時運行による不便さや、利用者数の減少が課題となっている。アンケート調査などを実施し、普通車によるデマンド交通などを検討していく。

「通園バス」については、年々利用者数が減少していることから、こども園と運行事業者が協議していく。「ふれあい号」については、現在の運行区域外での乗降ができないことが課題となっているが、委託事業者と協議しながら区域拡大を検討していく。

# 肺炎予防について

**問** 肺炎を引き起こすウイルス感染症として、新たにRSウイルスが注視されている。疾患の周知と感染予防への注意喚起が必要と考えるが、当町の取り組みについて伺う。

**答** 町長 広報紙やホームページなどでの周知啓発に努めていく。

**問** インフルエンザやコロナよりも知られていない。リーフレットの活用などを検討してはどうか。

**答** 保健福祉課長 感染症の予防のための周知、対策の必要性を町として皆さんに働きかけていきたいと思う。

# 一般質問

**問** 令和5年9月に世界初の成人・高齢者向けのRSウイルスワクチンが日本で承認され、令和6年1月から接種可能となった。予防効果も高く、効果は2年

以上持続すると報告されているが、接種費用が2万5千円と高額で、現在は全額自己負担となっている。少しでも接種しやすいように、半額程度の公費助成を検討していただきたいが所見を伺う。

**答** 町長 接種の必要性も考慮し、本町の財政状況や国の接種方針も踏まえて検討していく。

※写真資料の出典：GSK株「RSウイルス感染症 疾患啓発冊子 24年4月改訂版(一般向け)」

### どうやって予防したらいいの？

RSウイルス感染症に対する予防には、体調が悪い時には休むことや、飲食前の手洗いなどの日々の感染対策が大事です。また、60歳を過ぎた人はRSウイルス感染症の予防接種があります。

**RSウイルス感染症の感染経路**  
RSウイルス感染症の感染経路は、飛沫感染・接触感染です。

- 飛沫感染
- 接触感染

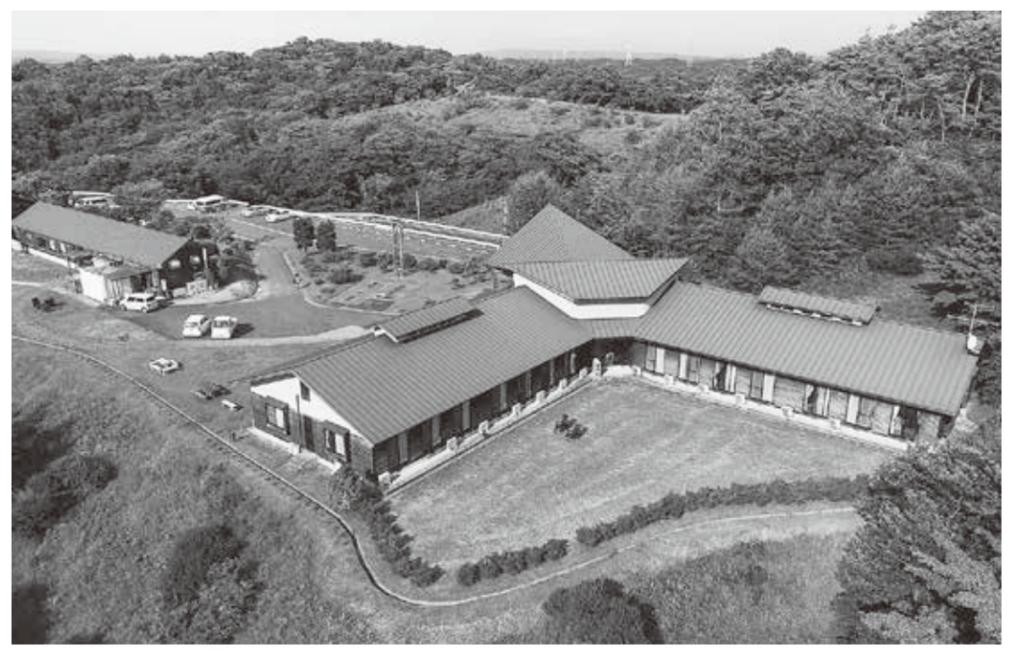
60歳を過ぎたらRSウイルス感染症の予防接種があります。医師にご相談ください。

※ 季節性RSウイルス感染症ワクチン(95歳未満)は承認されていません。

**RSウイルスの感染を防ぐための対策**

- 鼻汁、痰などの呼吸器症状がある時はマスクを着用
- 手を石鹸と水で20秒以上かけて、こまめに洗う
- 60歳以上の方は予防接種という選択肢があります

▲気にしてください!! RSウイルス感染症



▲休業となった縁の郷

**問** それぞれ個別に考えていくのではなく、トータルで見直していったらどうか。

**答** 町長 町全体が活気づくことによって、町の公共

交通が目細かい運行計画を立てることができ、それが補いあつていく、抜本的な見直しを考えるとできる。

マイナ保険証利活用の周知強化を



役場3階第3委員会室において、町民課より本町における年金・医療保険の現状について調査を実施した。

【意見】

- 国民健康保険の統一化について  
宮城県は、今年度中に目標年限を設定することであるが、確定した場合は町内の被保険者に対して、すみやかに周知を図りたい。
- マイナ保険証の利活用について  
本町のマイナ保険証利用状況は4.6%と非常に低い。利用方法・活用のメリット等、周知の強化を図りたい。
- 大郷町第3期データヘルス計画における受診率の向上対策について  
①第2期までのデータをベースに受診率向上による疾病の早期発見や重症化予防等に成果が得られるよう取り組みを検討されたい。  
②病気を経験した方々の体験談を周知する取り組みを検討し、さらに特定健康診査の重要性をPR強化するなど、受診率向上に努められたい。

次回「健康づくり事業について」を調査します。

町内企業の産業振興を



(有)高木商店、(株)村上農園、(有)大郷グリーンファーマーズにおいて、産業振興について調査を実施した。

【意見】

- 有限会社高木商店仙台工場  
大型スーパーやコンビニエンスストアへの営業販路を確立され、フルオートメーション化の増設と120名の雇用を行っており、町民の雇用も積極的に行っている。また、食品を取り扱うことから、終業後3時間かけて製造機械をすべて分解して洗浄することで製造管理を徹底していた。今後は、工場の増設や外国人労働者の宿舍建設には用地取得が必須とのこと。
- 株式会社村上農園宮城大郷生産センター  
豆苗のほかスプラウトを生産し、東北・関東方面へ出荷している。オートメーション化により、人員配置は最終工程である豆苗の箱詰めにおいている。  
現在、稼働率25%であり、早期100%を目指している。
- 有限会社大郷グリーンファーマーズ  
水稲および畑作の有機栽培・販売を行っており、みやぎ生協や福祉施設との農福連携も行っている。有機栽培面積は県内最大級であり、社員の雇用も増加している。また、宮城県農業協同組合中央会主催のオリザ賞の準大賞を受賞された。

次回「公共交通について」を調査します。

月日	用務	月日	用務
10/1	黒川地方町村議会連絡協議会役員会	11/13	町村議会議長全国大会・本県関係国会議員との意見交換会【東京都】
10/3	議会運営委員会【群馬県吉岡町議会視察対応】	11/14	おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会
10/4	広報広聴常任委員会	11/19	議員全員協議会・議会運営委員会
10/6	黒川地区女性防火クラブ研修会【大衡村】	11/22	宮城県町村議会議長会・県知事と町村議会議長との意見交換会【仙台市】
10/7	仙台北部道路建設促進期成同盟会要望活動【仙台市】	11/26	議会運営委員会・黒川地域行政事務組合議会運営協議会【大和町】
10/8	黒川地域行政事務組合議会定例会	11/29	おおさとスマートスポーツパーク構想に関する調査特別委員会
10/10	広報広聴常任委員会	12/3~6	第4回定例会
10/13	総合防災訓練	12/3	広報広聴常任委員会
10/17	宮城県黒川地方町村議会議長会定例会議【仙台市】	12/11	広報広聴常任委員会（新成人との座談会）
10/23	教育民生常任委員会	12/12~13	議会運営委員会視察研修【福島県三春町、桑折町】
10/25	町事業に関する事業報告会	12/16	広報広聴常任委員会
10/26	おおさとまつり	12/17	黒川地方市町村議会連絡協議会議員研修会
11/1	黒川地方市町村議会連絡協議会議員研修会実行委員会	12/18~19	広報広聴常任委員会視察研修【福島県大玉村、山形県川西町】
11/5	宮城県町村議会議長会議会広報研究会【仙台市】	12/20	黒川地域行政事務組合議会定例会【大和町】
11/6	宮城県黒川地方町村議会表彰式・議員研修会【松島町】	12/23	議員全員協議会・第6回臨時会
11/12	総務産業常任委員会	12/24	広報広聴常任委員会

物価高騰対策に5979万円

議案第1号 一般会計補正予算（第10号）を原案のとおり可決。5979万3千円を追加し総額65億2021万円。

価格高騰対策給付金	2469万円	・住民税非課税世帯1世帯あたり3万円を給付 ・子ども1人あたり2万円を加算
畜産特別対策支援事業交付金 ・牛の頭数に応じた交付金（年度内に交付予定）	760万円	肥育牛 7,000円/頭 繁殖牛 3,000円/頭 子牛 2,000円/頭 乳用牛 5,000円/頭 育成・子牛 2,000円/頭
商品券発行事業補助金	2413万円	・町民1人あたり3,000円の商品券を発行 ・2月中旬に発送予定

11/5 宮城県町村議会議長会議会広報研究会  
【宮城県自治会館】

講演 「議会の見える化&住民の信頼・認知へ  
～議会広報の基本と編集～」  
議会広報サポーター 芳野 政明氏



11/6 宮城黒川地方町村議会表彰式並びに議員研修会  
【松島町 パレス松島】

講演 「より強い吉田川へ」  
吉田川新たな水害に強いまちづくりプロジェクトから“流域治水”へ深化  
国土交通省東北地方整備局 北上川下流河川事務所  
副所長 間山 隆之氏



12/17 黒川地方市町村議会議員研修会  
【大和町】

講演 「多様な人材が参画できる議会を目指して  
～母として、介護に携わったものとしての小さな歩み～」  
栃木県那珂川町議会 議員 益子 純恵氏



人事院勧告に伴う給与等の  
関係条例の一部改正

原案のとおり  
可決しました

- 議案第63号 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（期末手当を0.05月分引き上げ、年3.45月とする）
- 議案第64号 特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正（同上）
- 議案第65号 職員の給与に関する条例の一部改正

- 一般職 初任給をはじめ若年層に重点を置き、月例給を引き上げる。  
期末手当および勤勉手当をそれぞれ0.05月分引き上げ、年4.6月とする。
- 定年前再任用短時間勤務職員 期末手当および勤勉手当をそれぞれ0.025月分引き上げ、年2.4月とする。

【上記議案に係る補正予算】

- 議案第66号 一般会計補正予算（第9号） 3219万3千円を追加し総額64億6042万5千円
- 議案第67号 介護特別会計補正予算（第3号） 18万7千円を追加し総額11億5706万7千円
- 議案第68号 水道事業会計補正予算（第7号） 39万4千円を追加し総額2億4321万1千円
- 議案第69号 下水道事業補正予算（第3号） 106万9千円を追加し総額3億7482万8千円

# 追跡レポート



## 有収率の向上について

### これまでの意見・提言等

- ・水道の漏水調査を強化し、有収率の向上を図りたい。  
(議会広報214号 意見提言より)
- ・石綿セメント管の更新と漏水調査を早期に行い、有収率の向上に努められたい。  
(議会広報216号 意見提言より)

### その後の対応と今後の計画

漏水調査については、今年度、全国的にも先進的である人工衛星の画像解析技術を用いた「衛星を活用した漏水調査」を実施しています。今後はこの調査結果をもとに、現地で音聴調査などを実施し、漏水が確認された場合には早急に修繕工事を行い、有収率の向上に努めます。  
※有収率84.1%、R6.3.31

石綿セメント管更新については、大郷町水道事業基本計画（水道ビジョン）に基づき、早期更新に向け計画的に更新を進めています。また、今年度は中村・鶉崎地区の配水管布設替設計業務を発注し、来年度から工事を予定しています。  
※中村・鶉崎地区の設計  
L=1.730km（複数年で工事を予定）  
上下水道課



▲漏水確認調査

## 倒壊危険住宅対策を

### これまでの意見・提言等

倒壊危険住宅については、所有者等に活用できる補助金の案内や相談を実施してきました。今後も相談や倒壊危険住宅の危険性、所有責任について指導していきます。  
(議会広報207号 追跡レポートより)

### その後の対応と今後の計画

倒壊危険住宅ということになると、そのほとんどが長期間放置された空き家になるかと思われます。  
これまで毎年、固定資産税納付書に空き家対策に関する情報を掲載し、所有者の方に対して空き家問題への意識の醸成を図っており、さらに、空き家バンクの運用や空き家対策セミナーを開催し、所有者の相談を受けながら、空き家の解消につながるよう努めてきました。  
今後は、民間企業との連携を強化し、空き家にならないための周知も図りながら、空き家の有効活用や適切な処分の支援など、空き家対策を促進していきます。  
まちづくり政策課



▲空き家対策セミナー

# 迎春



大郷町議会議長  
いし かわ よし ひこ  
石 川 良 彦

謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
平素、町民皆様には、議会活動に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

地方を取り巻く、社会経済情勢は、急速に大きく変化しております。少子高齢化社会が加速し、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災事業など、増大する諸課題に迅速かつ的確に対応し、真の地方創生の実現に向けた取り組みを推進することが求められています。  
今年、本町の目指すべき将来像と、それを実現するため、これまでの計画を見直し、今後10年間の指針となる新たな「大郷町総合計画」がスタートします。財政状況が一層厳しくなる中で、これまで以上の効果的・効果的施策の展開が必要となります。

このような状況を踏まえ、行政課題や複雑・多様化する住民ニーズを的確に捉え、議会としての責務と役割を果たすべく取り組んでまいりますので、町民皆様の引き続きのご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。



## 本年もよろしくお祈り申し上げます

## 真の地方創生の実現を

### 定例会年間予定表

定例会	期 間	会期日数
令和7年 第1回定例会	令和7年3月4日(火)～19日(水)	16日
令和7年 第2回定例会	令和7年6月3日(火)～6日(金)	4日
令和7年 第3回定例会	令和7年9月11日(木)～26日(金)	16日
令和7年 第4回定例会	令和7年12月2日(火)～5日(金)	4日
令和8年 第1回定例会	令和8年3月4日(水)～19日(木)	16日

※定例会の会期は都合により変更になることがあります。  
※土曜日、日曜日及び休日は休会となります。

# 住民の 声



やまだ ねね さん  
山田 寧々 さん  
(味明)

## 大切な場所をおおさと

私が15年間大郷町で暮らしてきて、大郷町の良さをたくさん知りました。大郷町の良さは、自然がいっぱいなところだと思っています。疲れている時でも、自然を目にすると元気になれます。

今、私は大郷中学校に在学中ですが、残りわずかです。卒業です。大郷の小中学校で本当にたくさんのお話を学んできました。友達との関わり方、支えてくれる人の大切さなど、様々な場面で成長できたと思います。大郷小、中学校に通うことができ良かったです。

将来はどうなるかわかりませんが、私たちが暮らしてきた大郷町を、大切にしてくれる人が少しでも多く増えてくれたらうれしいと思っています。これから先、大郷町が少しずつ発展していくことを願っています。

そして、自然を大切に暮らしていきたいと思っています。

12/18・19

## 広報広聴常任委員会 視察研修

### 福島県大玉村議会



令和5年町村議会広報全国コンクールにおいて、表紙デザイン賞「銅賞」を受賞している。議会を身近にし、議会活動への理解を広げたいという意図があり、表紙と裏表紙を飾る「住民の声」を重点としている。

### 山形県川西町議会



平成27年度町村議会広報全国コンクールにて、最優秀賞をはじめ、14年連続して入選を果たしている。住民参加のコンテンツも多く設け住民とのコミュニケーションを大切にしているなど、常に研さんを重ね、広報紙づくりに努力している。

今回は、議会だよりの編集や広聴活動などをテーマに視察を実施しました。先進自治体の研修結果を参考に、町民の皆様にご愛される議会だよりを目指してまいります。

## 編集後記

新成人の方々との懇談では将来の夢や希望の他に、町に対する率直な意見が語られています。若い世代の視点には感心します。大郷小6年生が定例会を傍聴し、感想が寄せられました。議会見学で何を学ばれたのか注目したいと思います。

広報広聴常任委員会では、より読みやすく、より分かりやすい議会広報を目指しています。研修会への参加や視察を通じて学んだことを、これらの紙面づくりに生かしていきたいと考えています。

鎌田 暁史

## 広報広聴常任委員会

委員長	高橋 重信
副委員長	石垣 正博
委員	鎌田 暁史
	鈴木 利博
	赤間 則幸
	金須 新一